

## 学会記事

◎第3回理事会(昭.33.8.19)出席者:米田会長,篠原副会長,高野,渡辺,国分,井口,比田,西嶋,小野の各理事。議事:1)7月中の行事その他報告,2)土木工学ハンドブック改訂の方針,ならびに改訂委員会の構成について,3)コンクリート常置委員会の設置について,4)フライアッシュ小委員会委員に石垣茂君(東北電力),平野硬太郎君(常磐共同火力)を委嘱承認,5)プレストレストコンクリート委員会委員に岡田清君(京大),野口功君(鉄研),西沢紀昭君(電研),神山一君(早大),白木良和君(P.S.),星野真佐雄君,木村公道君(オリエンタル),中島儀八君(別子建設),南俊次君,村上永一君(建設省),後藤幸正君(東北大),水野高明君(九大),横道英雄君(北大),吉田弥七君(熊本大)を委嘱承認,6)会誌抄録委員会を文献調査委員会と改名承認,7)正員40年会費免除者について,8)中部支部大会について,9)秋のエキスカッション計画について,10)7月中の会員入退会承認。

### ◎各種委員会

1. 第3回会誌編集委員会(昭.33.8.20)出席者:田原,井口正副委員長,大西,寺島,樋口,尾崎(代菅原),田村,三上(代米沢),海保,都,尾形,諫山,高橋(代柴垣),後藤(東北)各委員,深谷幹事。協議事項:1)審査報告,2)新規受付原稿の審査委員決定,3)依頼原稿について,4)今後の編集方針について,5)12月号シンポジウムについて,6)43巻10号登載原稿を次のとおり決定した。

肥後春生:繫船岸壁の防衛工について,今井・岩本・永井・伊藤:襜褸(プレストレスト合成材)の鋼桁假組時におけるプレストレス導入および載荷実験,野田・古賀:対傾構の荷重横分布作用について,毛利正光:交通流の単一流れについて,宮地一郎:発電水力講座(水路工作物)

2. 第3回会誌編集小委員会(昭.33.8.7)出席者:後藤(東北),尾崎,上東,高橋(代田中)の各委員,深谷幹事。議事:43巻9号会誌編集につき最終的な打合せを行なった(80ページの予定)。

3. 第3回会誌抄録委員会(昭.33.8.4)出席者:樋口委員長,岩間,垣中(代岸山),小池,佐藤(代伯野),津野,土屋,新谷,野口,矢島の各委員,高橋幹事,御糺氏(科学技術情報センター)。協議事項:1)43巻9号登載文献目録の提出,2)9号登載の抄録原稿の決定,3)その他。

4. ハンドブック改訂に関する打合せ(昭.33.8.8)出席者:福田前委員長,山田,国分,田中,平井,友永,(代西村),田原,奥村,渡辺,清水(代岩間),松井(代),比田(代海保),山本(代渡辺),畠山(代伊藤),高木(代志関),加納,米元,高橋(代柴垣)の諸氏。議事:1)改訂方針に関する編集委員会の意見,2)前委

員会主査の意見,3)改訂の方法,等につき協議した。

5. 第1回定款改正特別委員会(昭.33.8.11)出席者:本間委員長,高野,尾之内両委員,豊田幹事。議事:出席者小数のため決議事項はなく大体次のことを申合わせた。1)定款全体の改訂にはふれないで所要部分だけの改訂にとどめること,2)次の事項については,なお研究をすること,a.専務理事について,b.会費の条文を定款に組み入れること,3)第2回を9月11日(木)とすること

6. 臨時会誌編集小委員会(昭.33.8.11)出席者:田原,井口正副委員長,奥村,尾崎両委員,深谷幹事。議事:12月号に誌上シンポジウムの企画を立て,第1回を“交通問題”とし,8月23日関係者を召集することとなった。

7. フライアッシュ小委員会(昭.33.8.12)出席者:国分委員長,三浦(代杉木),平野(代野木),野瀬(代太育),河原,高野,山沢,左右田,高橋,武藤,本間,光岡,久木田,石垣の各委員。議事:1)次の委員の追加について理事会の承認を求めること,東北電力KK石垣茂氏,常磐共同火力KK平野硬太郎氏,2)本日をもって,32年7月,12月採取のフライアッシュ17種の共通試験結果および各工場で調査したフライアッシュの品質均等性についての各報告を終了した,3)第3次共通試験および品質調査を引続いて行なうこととした。

8. 第9回土木振興対策委員会(昭.33.8.15)出席者:平山委員長,金森,黒田,比企,町田,山本,吉田,松野,篠原の各委員。議事:1)設計監理小委員会で作案した「土木設計および監理業務基準案」の修正字句および解説の代りに添付する資料について検討し,基準案の最終決定をしたので,これを会長に報告することとした,2)今後の本委員会の仕事としては,施工管理基準の制定とか,工務士法の立案等の仕事があるが実施についてはそれぞれ小委員会を設ける必要がある,3)本委員会の設立当初の任務はこれで一段落したので,委員会の在否については理事会の意見をまつこととする。

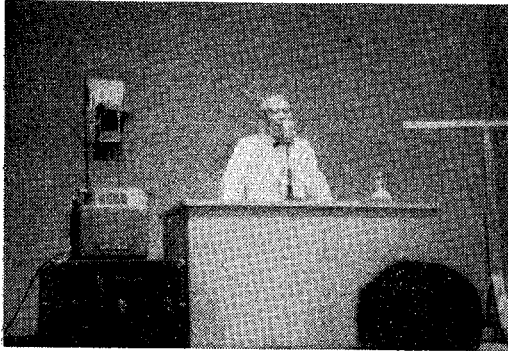
9. “交通問題”シンポジウム企画打合せ(昭.33.8.23)出席者:国分部長,田原,井口正副委員長,奥田,八十島,田中(代村田),東(代竹内),尾之内(代今井)の各氏,奥村委員,深谷幹事。協議事項:12月号を第1回として各方面に執筆を依頼した。

10. 夏季講習会講師打合せ(昭.33.8.26)出席者:小野理事,友永(代田島),小西,有泉,丸安,高林(代山本),水越,白石,加藤の各講師。協議事項:1)各講師の受持時間の確認,2)図面,スライドの取扱いについて打合せ,3)その他印刷物の修正点等。

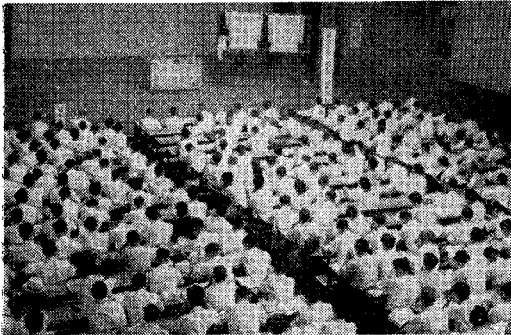
◎昭和33年度夏期講習会(昭.33.8.27~29)の3日間,早稲田大学共通教室において今回は“新しい建設

工法”についての講習会で、研究者も現場技術者もともに最も関心の深い問題であつたので、受講者は夏季講習会としては新記録の状況であつた。27日第1日は小野理事司会のもとに米田会長より土木技術者の任務と本講習会の趣旨を述べ講師の御苦労ならびに受講者の熱意に敬意を表し、また本講習会の開催に絶大なる後援をいただいた早稲田大学当局の御厚情に謝意を表するとの挨拶があつた。9時より、次のスケジュールにより講演が行なわれた。

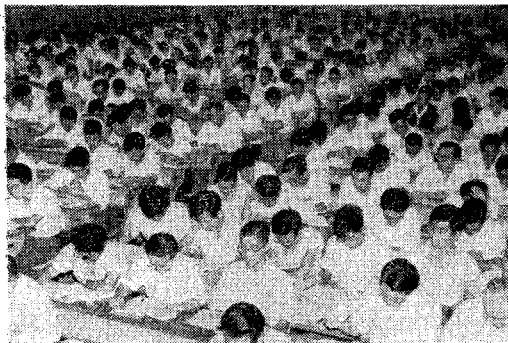
米田会長の挨拶



満員の夏季講習会場



同上



(第1日)

- 1) 新しい鉄道橋  
国鉄構造物設計事務所長 工博 友永 和夫
- 2) 新しい道路橋  
京都大学教授 工博 小西 一郎

- 3) 土工学分野におけるラジオアイソトープの利用について  
建設省土木研究所 有泉 昌
  - 4) 航空写真測量の最近の進歩とその利用  
東京大学教授 工博 丸安 隆和
  - 5) 真空コンクリート工法  
吉野理化工業KK社長 工博 高林 利秋
- (第2日)
- 6) パイプビーム構造とその設計について  
東京電力KK建設部次長 水越 達雄
  - 7) テトラポッド工法について  
運輸省新潟港工事事務所長 白石 直文
  - 8) セルラー・バルクヘッドによる岸壁工法  
運輸技術研究所港湾土質部 立石 哲郎
  - 9) パイプロフロテーション  
東京大学教授 工博 最上 武雄
  - 10) 路床路盤の安定工法  
建設省土木研究所 工博 竹下 春見
  - 11) 道路施工機械  
建設省大臣官房建設機械課長 加藤 三重次

受講者の所属大別は次のとおりであつた。

建設省(都道府県市をふくむ)	316
運輸省(港湾および県の一部)	85
国鉄(私鉄をふくむ)	121
学校	33
通産省(電力)	33
農林省	8
業界	115
その他	18
計	729

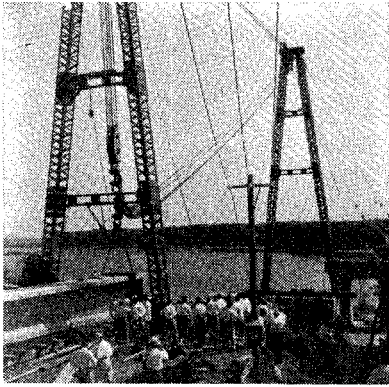
第3日 見学会：夏季講習会の行事の一つとしては本年は1,2,3,4の4班に分れて見学会を催した。各班とも天候にめぐまれて、それぞれ所定のコースで担当者の懇切丁寧な説明を得て、一同十分の成果を収めた。ただ申込者が各班とも定員を突破して見学先に御迷惑をかけたのと、会員にお断りした方が相当多かつたことは残念

平塚付近真空コンクリート工法の施工状況(第1班)

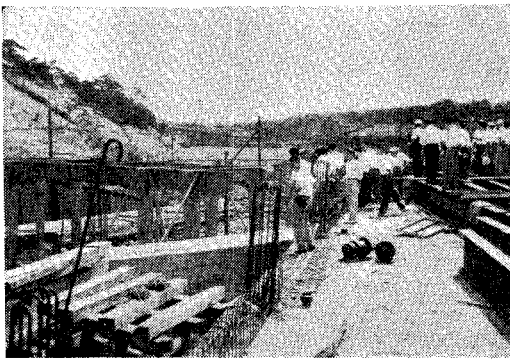


であつた。本見学会については第1班について建設省道路局道路企画課、関東地方建設局京浜工事事務所、日本道路公団工務部第1課、同横浜バイパス工事事務所、平塚市、吉野理化工業KK、第2班については、神奈川県土木部、三崎港修築事務所、東京電力KK、オリエンタル

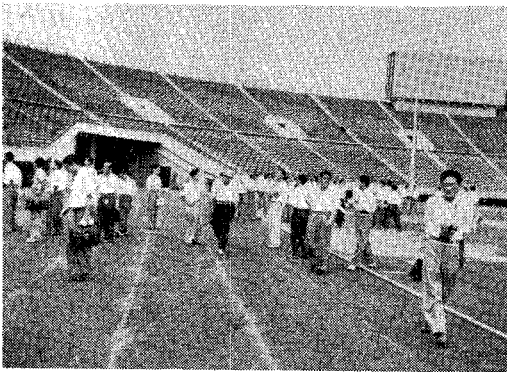
城ヶ島架橋工事（第2班）



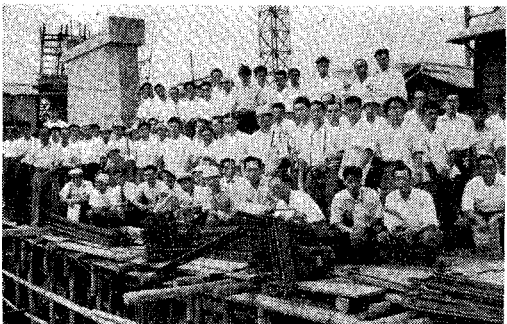
地下鉄四谷駅立体交叉工事（第3班）



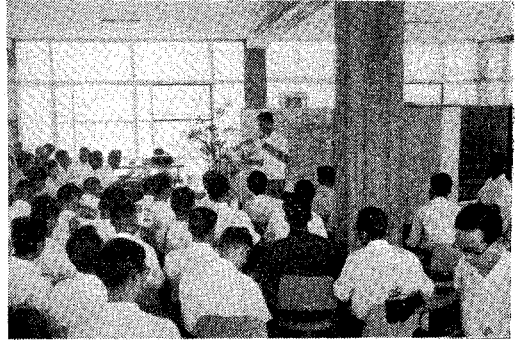
国立競技場にて（第3班）



海門橋工事現場にて（第4班）



原子力研究所にて説明をきく（第4班）



コンクリートKK、清水建設KK、第3班については関東地方建設局営繕部建築第1課、帝都高速度交通営団工事課、同工事々務所、国立競技場、東京都体育館、第4班については茨城県土木部、日本道路公団東京支社、同海門橋工事々務所、日本原子力研究所東海研究所、のそれぞれの当事者各位に対し、深甚の謝意を表する次第である。各班の参加人員は次のとおりであつた。

1 班	140 名
2 班	78 名
3 班	95 名
4 班	118 名

### 支 部 だ よ り

#### ◎中部支部

昭和 33 年度支部大会 1) 会場：石川県農業会館(金沢市) 2) 日時：10 月 11 日 大会議事および講演会、10 月 12 日見学会等の予定である。

#### ◎関西支部

##### (1) 幹事補欠異動について（7 月 30 日付）

新任 藤沢 仁(大成建設大阪支店次長)

退任 成松 清雄(西部支部へ転出のため)

##### (2) 役員会の開催

###### 1) 第4回幹事会(昭.33.8.15)

出席者：石原、近藤、石田、大島、別所、松尾、伊藤

###### 2) 第2回商議員会(昭.33.8.15)

出席者：小幡、川崎、神田、田中(茂)、山本、上原、中村、合田、室田、石原、近藤、石田、伊藤、大島、別所、松尾

以上において8月末、9月、10月の諸行事について協議決定(お知らせ、記事に掲載)。

##### (3) 京滋地方見学会(昭.33.8.23~24) 1) 見学先：東山有料道路、瀬田川橋梁、南郷洗堰、天ヶ瀬ダムの各工事、2) 参加者：65 名

##### (4) 水理学に関する講習会(昭.33.8.30) 日時：8 月 30 日 9 時~17 時、会場：大阪ガスビル、講演題目

および講師：(水理公式の解説) 1) 河川 京大 岩佐義朗, 2) 発電水力 京大 矢野勝正, 3) 上下水道 京大 合田 健, 4) 港湾 阪大 田中 清, (特別講演) 最近の水理学の進歩について 米国イリノイ大学教授 Ven. Te. Chow 博士, 参加者: 250 名

### 関係学協会だより

(1) 日本気象学会, 8月例会報告

会場: 気象庁第1会議室  
 日時: 昭和 33 年 8 月 15 日 午前 9 時~12 時  
 講演会: 災害に関する講演会 6 題目  
 午後 1 時より  
 シンポジウム: 台風災害について 5 講師

(2) 第 2 回万国地震工学会議後援会設立計画打合せ (昭.33.8.18)

出席者: 竹山謙三郎 (建築), 比田 正 (土木), 金井 清 (震研) の諸氏  
 議事: 第 1 次試案として次の点について協議した。  
 1) 後援会々長 (または委員長) の人選。  
 2) 会長を中心として世話人を選定する。  
 3) 募金目標と募金割当。  
 4) 後援会の事業発足時期, 活動期間等。

(3) 日本気象学会 気象学史ならびに気象教育についての講演会

日時: 8 月 29 日 午前 10 時  
 会場: 気象庁研修所第 1 教室  
 題目: 12 題 10 講師

## 第 11 回 国 際 道 路 会 議

国際道路会議は, 常設国際道路会議協議会の主催によつて 4 年に 1 回開催される道路に関する国際会議で, 明年 9 月に第 11 回会議がブラジルのリオデジャネイロで開催されるが, 主なる議題は次のとおりである。

第 1 議題

A 基礎および路床, B 一般の問題: 結氷と雨水, 排水, 道路の美的計画, 交通および安全に対する視覚的条件

第 2 議題

A たわみ性道路および滑走路の舗装, B コンクリー

ト舗装

第 3 議題 市街地道路の舗装

第 4 議題 低コスト道路に関する諸問題

第 5 議題

A 交通量の予想, 交通調査, 事故の研究, 2 輪車の交通, 沿道広告, 沿道制限, B 市街地道路の交通量の予想, 公共輸送の問題, 高速道路に関する研究, 事故原因の研究

第 6 議題 A 道路事業の財政および経済的妥当性

### 会 員 現 在 数 (昭.33.8.31 現在)

名誉員	賛助員	特 1 級 A	B	C	特 2 級	特 3 級	正 員	准 員	学生員	合 計	増加
26	30	16	12	70	115	103	8 818	4 333	1 007	14 530	1

### 昭和 33 年 8 月分入退会報告 (昭.33.8.1~8.31)

- 入 会 59 名 (正 32, 学 26, 特 3 級 1)
- 退 会 58 名 (正 28, 准 27, 学 3)
- 転 格 7 名 (准より正へ 7)

正 員	中 村 治 夫 君	農林省八郎潟干拓事業所勤務	昭和 33 年 7 月 29 日	享年 28 才
正 員	中 川 一 美 君	社団法人土木学会書記長	昭和 33 年 8 月 30 日	享年 60 才

昭和 33 年 9 月 10 日印刷

印刷者 大沼正吉

編集者 国分正胤

定 価 100 円

昭和 33 年 9 月 15 日発行

印刷所 株式会社 技報堂 東京都港区赤坂溜池 5 番地

発行所 社団法人 土木学会 東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)

振替 東京 16828 番

土木学会誌 第 43 卷 第 9 号

電話 (35) 5130・5138・5139 番